

## 配送部門と総務部門における 業務の効率アップ

現場を検証すると同時に、社員と信頼関係を深め、本音を引き出すことで配送部門・総務部門に潜む課題を抽出。これまでのキャリアで積み上げてきたノウハウをもとに業務の改善策を提案、推進した。

### ▼ 取り組み内容

**Step 1**  
現状把握

成果を数値で表すためのデータを収集。同時に改善策の立案に向け、社員と信頼関係を構築し、本音をヒアリング。

**Step 2**  
課題整理

現場の検証と社員の声をもとに、業務の効率を上げられない潜在的な課題を見極め。

**Step 3**  
改善策の立案・実行

Step2で見いだした課題の解決に向けて改善策を立案、実行。その成果を数値で明確化。

**Step 4**  
定着化

業務改善が社内のリソースだけでも継続的に自走できるよう、定着のための仕組みを構築。

### 受入企業

## 株式会社森八

業務統括室取締役室長兼工場長  
森岡 晋也 さん

1625年（寛永2年）に創業した老舗の和菓子製造会社。代表的な商品として、日本三銘菓の一つに数えられる「長生殿」をはじめ、「千歳」「黒羊羹」などがある。こだわりの原材料と伝統的な製法で生み出される味わいが広く愛されている。金沢市大手町の本店に木型美術館を併設し、和菓子文化の発信にも力を入れている。

### 研究員

## 山本 拓也 さん

神奈川県横浜市出身。大学時代をアメリカで過ごし、国際経済学を専攻する。18か国を渡り歩きながら、地域の経済、文化、宗教を学ぶ。卒業後は物流企業、Eコマース企業、小売り企業で、サプライチェーン、ロジスティクス、品質管理など歴任。起業家向け経営塾で、ロジスティクス分野の講師を担当。現在はコンサルティング会社を経営。

共創型企業・人材展開プログラム 事例

CASE:

配送部門と  
総務部門の  
業務改善

取り組みの成果  
・  
今後の取り組み

- ・コロナ禍でオンラインによる注文、小口の出荷業務が増える中、配送部門の業務改善に取り組み、作業効率をアップした。その結果、1年で最も忙しい12月の労働時間を39%短縮した。
- ・余力が生まれた配送部門のリーダー、社員が積極的に製造部門のサポートに回るなど、仕事に対するマインドが変わり、部門の壁を取り払い、工場を一体化するための土壌が整った。
- ・総務部門における業務の効率化に向け、勤務管理システムと基幹システムの導入をサポートした。

企業の評価・今後の関わり方

参加理由

- ・これまでも社内のリソースによる業務改善に取り組んできましたが、行き詰まりを感じていました。今後さらに成果を出していくには、外部の目線から課題を発掘し、従来とは違うアプローチで解決策を見出すことが必要だと感じ、参加を決めました。

評価（成果・社内変化など）

- ・当初は半年間で一つでも成果が出れば良いと思っていたのですが、結果として社員が体感できるくらい効果のある業務改善がいくつも進み、山本さんの取り組みには大変満足しています。
- ・山本さんは中小企業のことをよく分かっていて、いきなり理想を押しつけるのではなく、当社の社員ができることから徐々にステップを踏んで業務改善を進めるやり方で進めてくれたことが好結果につながる要因だったと思います。
- ・配送部門の成果を製造部門に波及させるため、社員の一部を入れ替え、組織の見直しを行いました。今回の取り組みによって、以前から構想していた工場の一体化が大きく前進しました。

今後の関わり方

- ・東京に戻るという山本さんの意向もあり、今後は不定期でサポートいただければありがたいと思っています。また、本プログラムを通じて、社外の目の必要性を実感したので、今後もマーケティング分野などで外部人材の活用を計画しています。

研究員の評価・今後の展望

参加理由

- ・コンサルティング案件を紹介してくれているWEBプラットフォームで本プログラムを知りました。地域企業に週4日勤務し、経営者や従業員と過ごす時間が長くなることから、今までの案件とは違う踏み込んだ経験ができるだろうと期待して応募しました。

評価（取り組み・生活）

- ・現場の本音の声を聞くため、最初の1カ月は仕事への理解を深め、社員と信頼関係を構築することに注力しました。その上で、現場の本当の課題を見極め、やり方や配置、道具などを見直しました。社員が作業効率の向上を実感できれば士気が上がると考え、体感しやすい改善を積み重ねることを意識しました。
- ・個人の努力だけでは業務改善は長続きしないと考え、取り組みを定着させるための仕組み化にも注力しました。
- ・本プログラムは表面的な経験やスキルだけでなく内面を重視し、企業と研究員の性格的な相性を重視してマッチングしている点が特徴であり、その分お互いにとってメリットが大きいと感じました。

今後の展望

- ・プログラム終了後はいったん東京に戻ります。とはいえ縁が切れるわけではありません。まだ具体的には決まっていませんし、出張ベースになるかもしれませんが、これからも引き続き、森八の業務改善のお力になればと思っています。